

第40回定期全国大会開催



辻村執行委員長



JR連合荻山会長

7月9日、大阪市内で開催し、今後の活動方針が満場一致で可決されました。

東海地区本部奥田代議員を議長に選出し、会を代表して挨拶に立った辻村中央執行委員長は、「記念すべき40回目の定期大会を開催することができ改めて感謝申し上げます。周知のように私達には組織課題を含め多くの課題が山積しているが、先輩達が築き上げた鉄産労を守っていく使命がある。私はその舵取りを担っていくが、組合員が不安に陥らないよう、JR連合・各地区本部との連携を密に取りながら精進していきたい」と述べられました。

来賓には、JR連合より荻山会長・相良局長、交運共済より本田専務理事の3名にお越し頂き、JR連合荻山会長は、「協力会社を含め死亡労災が多く発生しており、改めて安全意識を高めて頂きたい。JR貨物には、2024問題・アポ改定等、多くの政策課題があり、解決していくために惜しみなく注力していく」と挨拶されました。

その後、執行部より今後の活動方針を提起し、質疑応答では8名の代議員から質疑があり、中でも組織課題に関して多く出され、JR連合組織担当相良局長からの知見を交えながら、執行部が集約答弁した後、辻村委員長による「団結ガンバロー」で閉会しました。



本田専務理事



熱中症対策として、クオカードを配布しています。
詳しくは組合役員にお聞きください。